



農業のために 地域のために 明日のために

# JA共済の 地域貢献活動

JA共済は、全国でさまざまな  
地域貢献活動を行っています。  
個々の活動が、未来に向けて  
地域や農業の大きな力となるように  
今後もこの活動に取り組んでまいります。



# JA共済の 地域貢献活動

報告集 <関東・甲信越エリア版>



JA共済の地域貢献活動ホームページ  
「ちいきのきずな」でも  
さまざまな活動をご紹介します。



スマートフォンの方はこちらから!





## 地域に根をはり、くらしを支える。

JA共済は農業のために、地域のために、明日のために、全国各地で地域の独自性を活かした地域貢献活動に取り組んでいます。組合員や地域の皆さまが、豊かに安心して暮らすことができるように、皆さまの声に耳を傾け、地域に寄り添います。

### 関東・甲信越 エリア INDEX



- ① 茨城県 P03
- ② 栃木県 P05
- ③ 群馬県 P07
- ④ 埼玉県 P09
- ⑤ 千葉県 P11
- ⑥ 東京都 P13
- ⑦ 神奈川県 P15
- ⑧ 山梨県 P17
- ⑨ 長野県 P19
- ⑩ 新潟県 P21

## 茨城県



1)「じゃがいもって、こんふうになるんだ!」と驚く子どもたち  
2)霞ヶ浦周辺は、蓮根の産地。蓮根入りカレーは、格別です。

## 1 地元産農産物を活かして 親子のふれあいをお手伝い

地域の未就学児、小学校低学年の児童とその保護者を対象に、地元産農産物の育ち方教室と料理体験を行いました。

育ち方教室では、生産者の方に野菜の作り方を説明していただきました。畑から掘り起こされたままの葉と土が付いたじゃがいもに、子どもたちは興味津々で触れていました。

料理体験では、地元の牛肉を使用したハンバーグと特産物の蓮根を使った蓮根カレーを作りました。家では見ただけだった料理を自分たちの力で作ることができて、子どもたちは大喜びでした。

保護者の方々も、子どもたちが料理の後片付けまでする様子に笑顔を浮かべていました。

根や葉が付いたままの野菜に触れたり料理をする貴重な体験ができました!



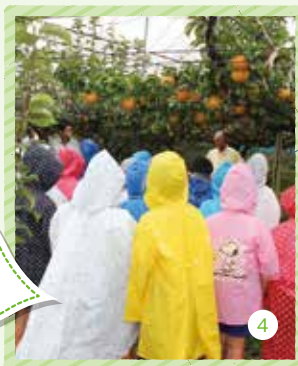
## 2 おいしさの秘密がわかる梨園見学

地域の小学校の中学年を対象に農家見学を実施しました。

「お客さまの口に入るものだから」と農薬や消毒の散布を必要最低限の量・回数しか行わず、収穫の時期が近付くと散布は一切行わないという生産者のこだわりを、児童たちは想像以上に熱心に、興味深そうに聞いていました。

生産者から直接話を聞くことで、地域の農業と、自分たちの食とのつながりを実感してもらうことができました。

梨が甘くてとっても美味しかった! 今度は、家族と梨狩りに行ってみたいです!



苦労は多いですが、たくさん実った梨を見ると、感無量になります。

3) 枝を支える針金の役割について話をする生産者の方  
4・5・6) 生産者の方の話を熱心に聞く子どもたち

# 栃木県



パティスリー  
ポタジエ  
柿沢安耶さん

## 1 パティシエによる クッキングショーを開催

洋菓子店「パティスリー ポタジエ」の柿沢安耶さんによるクッキングショーを開催し、地元の代表的な野菜であるかき菜、いちご、トマトを使用したオリジナル野菜スイーツを提供していただきました。

このイベントを通じて、地元産野菜について若い世代も関心を高めることができました。「同様のイベントがあったら参加したい」との意見が数多くあり、大好評でした。

ほのかに「野菜」の味のする  
優しい甘さのスイーツ。  
子どもに作ってあげたいです。



2



3



4

- 1) 柿沢安耶さんによるクッキングショー  
2・3) オリジナル野菜スイーツ  
4) 柿沢安耶さんがオーナーを務める「パティスリー ポタジエ」の外観



いちごを試食した皆さんが  
笑顔になるので  
嬉しさでいっぱいです!

## 2 駅の改札口で地元産いちごの 魅力を伝えるイベントを実施

地元産のいちごは  
とても美味しかったです!

直売所やスーパーだけでなく、駅構内でも地元産いちごを紹介しました。電車が到着するたびに多くの方が注目し、サラリーマンや学生にも興味を持っていただくことができました。

地元産いちごの魅力伝え、新たなファンを獲得することができました。



6

- 5・6) JR宇都宮駅改札口付近でのイベント  
7) 地元産の原材料にこだわった、無添加・無着色の手作りジャム



7

# 群馬県



お米を作るってこんなに  
手間がかかるなんて  
知らなかった!

## 1 お米作りを体験して作物、 地元への愛情を育てる

保育園、幼稚園、小学校の子どもたちを対象に、田植え・稲刈り体験を行いました。

稲刈りでは、子どもたちが稲を一束ずつ丁寧に刈り取り、稲穂の大切さを実感してもらうことができました。

いくつかの小学校では、感謝祭を開催して、お世話になった地元農家やJA職員に、子どもたちが作ったお米と地場産の野菜を使った料理を振舞いました。このような地域との交流を継続し、地元への愛情を育てていきます。



- 1) 並んで稲を植える様子
- 2) 田んぼに入り、整列
- 3) 稲を丁寧に刈り取る様子
- 4) JAの担当者から、お米の話聞く子どもたち

## 2 あぐりキッズスクールを通じた食農教育で 農業の楽しさ、食べ物大切さを学ぶ

小学生と保護者を対象に食農教育を実施しました。

育てることの難しさや、自分で植えた野菜に花が咲き、大きく育ったときの嬉しい気持ちなど、子どもたちはあぐりキッズスクールでの体験を通してたくさんの発見をしてくれました。

今後もこの活動を通じて、農業の楽しさや食べ物大切さを子どもたちに伝えていきます。



自分で育てた野菜は  
新鮮で甘くて  
とても美味しかった!

- 5) 野菜センター施設見学
- 6) ブロッコリーとキャベツの定植をする参加者
- 7) 地元野菜を使った親子料理教室



# 埼玉県



## 1 新技術の導入を支援し、地域の農業振興の一助に

農業機械の高性能化やICT技術の発展により、農業生産力の高まりが期待されています。

これらの農業新技術等の導入によって、農業者の方を支援することを目的として、県内で13のJA、計46件の農家・農業法人に対して、技術・取り組みにかかる費用の一部を支援しました。



1



2



3

高性能なシステムを導入したことで害虫を防除できて助かりました。

- 1) 密苗仕様の田植機による田植作業(密播疎植栽培を実施)
- 2) 田植機の側面
- 3) 高濃度炭酸ガスによるいちご苗の害虫防除システム(ハダニ殺虫処理装置)
- 4) 装置内の温度管理をするオイルヒーター&サーキュレーター
- 5) ガス濃度も測定できるCO<sub>2</sub>ガス検知器



4



5

## 2 県内24チームが参戦！ 激戦を繰り広げたサッカー大会

埼玉県は元々サッカーが盛んな地域ですが、小学校低学年を対象としたサッカー大会が開催されていなかったため、「JA共済カップSAITAMA少年サッカー交流大会」を主催しました。

大会では、低学年とは思えないレベルの高い技が随所に見られる試合が展開されました。

県内にある16のJAからの特産品のプレゼントや、お楽しみ抽選会のイベントもあり、県内産の農産物などをPRする機会にもなりました。参加した子どもたちや保護者からも好評で、会場は大いに盛り上がりました。



6



7

いろんなチームと戦って優勝できてうれしかったです！

- 6) 試合の様子
- 7) 優勝したHFCスポーツ少年団
- 8) フリースタイルフットボールパフォーマンス集団「球舞」
- 9) 県内より24チームが参加



8



9

# 千葉県



## 1 収穫量全国1位の にんじんを学校給食へ提供

富里市が市町村別で収穫量全国1位の冬にんじんを使い、菓子製造会社と企画・製造した「富里まんまるゴーフレット」を、食育の取り組みとして、幼稚園・小学校・中学校12校の学校給食に提供しました。

児童は「農家の人たちが大切に育てたにんじんが、ゴーフレットになるんだ!」と驚いた様子でした。

にんじんについて授業をしてくださった小学校もあり、「富里のにんじん、富里の農業ってすごいね」と、子どもたちに地元の農業に対する誇りを持ってもらうことができました。



にんじんがゴーフレットになるなんてビックリ!  
すごく美味しい!

1・3・4) 教室風景  
2) 「富里まんまるゴーフレット」

ストラップも付いているので  
首からぶら下げることができ、  
携帯しやすい作り  
になっています!



## 2 防犯ブザーで、 通学中の子どもたちを犯罪から守る

子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件が多数発生していることから、小学生の安全のため、1,760個の防犯ブザーを香取市旧佐原地区の小学生全員に寄贈しました。

防犯ブザーにはライトも付いていてとても便利だと、保護者の方からも好評でした。



5) 防犯ブザー  
6・7) 贈呈式



# 東京都



## 1 農業振興に関するイベントの開催を支援し、農業への注目度をアップ

農業の情報発信基地「JA東京アグリパーク」での、各JA・連合会等によるイベントの開催を支援しています。

アグリパークを訪れた方からは、「東京でこんなにたくさんの野菜を生産しているとは知らなかった」という驚きの声もいただき、農業への関心を高めることができました。



- 1) 都内JAによるイベント
- 2) アグリパークポスター
- 3) 共済連主催イベント

毎週違う団体のイベントがあるので楽しみにしています！



## 2 移動直売車で買い物が困難な方と農家をサポート

買い物が困難な方の生活支援、および出荷者の農業所得向上を目的に、JA八王子の移動直売車「旬菜号」を寄贈しました。

行政や自治会等の協力を得ながら、管内の拠点で地場産野菜、米、冷凍加工品などを販売し、精力的な活動を展開しています。

今後、口コミで「旬菜号」の評判が広がることで、地域住民の生活支援と農業振興にさらに貢献していきたいです。



普段行っているスーパーは遠くて...移動直売車が来てくれると新鮮な野菜が毎週楽に買えるので助かります。



- 4) 「旬菜号」
- 5) JA八王子浅川支店駐車場での販売
- 6) JA八王子本店駐車場での販売





# 神奈川県



1) さつまいもスクール  
2) さつまいもスクール卒業証書



## 1 農業体験を定期的に行い、交流を深める

JAさがみでは、准組合員の方とご家族を対象に、3回に分けて農業体験「さつまいもスクール」を実施しました。

1回目はさつまいもの植え付け体験と、湘南藤沢地方卸売市場の視察を行い、2回目は果樹園・野菜施設にて、藤沢市の果樹・野菜の種類、特徴や栽培方法などの説明を受けた後、さつまいもの除草作業等を実施しました。3回目はさつまいもの収穫体験、さつまいも料理の試食や効能・レシピの説明等による食育を行い、参加者へ卒業証書を授与しました。

スクールを通じて地元で採れる農産物を周知するとともに、准組合員・農家・JA三者の交流を深めることもできました。

## 2 農家の負担を軽減して地域農業活性化を支援

JAかながわ西湘では、農家からの要望に応じて貸し出し用の農業用機械を寄贈しました。

利用頻度が低く、購入を控えがちな機械をJAが購入して貸し出すことで、農業の維持・発展や、耕作放棄地対策につながることが期待されています。

利用者からは「時間短縮になり、他の作業に手が掛けられます」「有効活用させてもらいたいです」と好評でした。

今後も地域の農業者に少しでも役に立てる支援を行っていきます。

機械化することで時間短縮になり負担が減り助かりました!



4) 貸し出し農機具  
5) 講習会  
6) 貸し出し開始のセレモニー

## 山梨県



- 1) 不織布をかぶせる児童たち
- 2) 一粒一粒、丁寧に大根の種を蒔く児童たち

## 1 育てる過程を体験し、食べ物大切さを伝える

甲州市立奥野田小学校で、全校児童が大根の種蒔きを体験しました。食農教室の中でのこの体験は、いのち、自然、食べ物、農業の大切さを伝えていくことを目的に行っています。

体験時は種蒔きの時期が遅かったため不織布をかぶせて、「元気な大根が育ちますように」と願いを込めて、丁寧に一つひとつの作業を行いました。

種蒔きから育てていく過程を体験することで、児童たちに食べ物の大切さを感じてもらうことができました。

種蒔きを体験して、農業の大切さを感じることができ、とても良い経験になりました。



児童も元気いっぱいに発言して、山梨のぶどうについて楽しく学ぶことができました！

## 2 小学校に野菜ソムリエを招いて食農教室を実施

甲州市立塩山北小学校に野菜ソムリエを招いて「ぶどう」の講習を実施しました。

児童たちはメモをとりながら熱心に話を聞き、クイズ形式で問題が出されたときも、元気いっぱいに参加していました。

ぶどうの箱詰めを児童たちにやってもらうことで、生産者がどんな風に消費者のもとへおいしいぶどうを届けているのかを、体験しながら学ぶことができました。



- 3・4) 児童に山梨のぶどうについて講習を行っている野菜ソムリエ
- 5) 元気いっぱいに、楽しく学ぶ児童たち

# 長野県



きのこの美味しいレシピも公開しています!

## 1 「きのこのずかん」を作成、きのこに対する理解を高める

きのこの歴史、生産者、食べ方など、きのこに関することが分かるホームページ「きのこのずかん」を作成し、インターネット上で公開しました。イベント会場で活用したり、商談ツールとして取引先担当者への商品説明に使用しています。

また、きのこことその産地の紹介が必要な場面で分かりやすく伝えられるため、メディア関係者へ説明する際にも好評です。

「きのこのずかん」によって、より積極的に地域の紹介ができるようになりました。



- 1) きのこのずかんのホームページ
- 2) ぶなしめじ
- 3) なめこ
- 4) えのきたけ
- 5) エリンギ

## 2 市田柿の魅力を伝える様々なイベントを展開

若い世代に特産物の市田柿を知ってもらうため、雑誌「CanCam」「美的」に市田柿の特集記事を掲載するとともに、読者イベントを開催し、SNSを活用した活動も行いました。

イベントに参加した20代、30代女性からの感想が多数投稿され、若い世代にも市田柿について知ってもらうことができました。

また、機能性健康食品「スーパーフード市田柿」として、JAのホームページ上にも「市田柿らぼ」というコンテンツを展開し、様々な角度から市田柿の魅力を伝えています。



- 6・8) 市田柿を使った特別メニューを試食する読者
- 7) 市田柿の魅力を語るモデルのトラウデン直美さん
- 9) CanCamに掲載された市田柿の特集記事

市田柿の魅力がたっぷりつまったイベントでした!



茨城県  
栃木県  
群馬県  
埼玉県  
千葉県  
東京都  
神奈川県  
山梨県  
長野県  
新潟県

# 新潟県



1) 美味しそうなきんに夢中の来場者  
2) つきたてのお餅が味わえる餅つきも実施

## 1 イベントをきっかけに 地域とのつながりをつくる

JAのことを地域住民の方により広く知っていただくために農業祭を開催しました。会場では地元野菜を使ったカレー、地元の農作物やそれらを使った食品を提供しました。普段は関わりの少ない小さな子ども連れのご家族の来場も多く、農業祭が地域の方とのつながりを生むきっかけになりました。

## 2 春から秋にかけての稲作体験で、 生産者の気持ちに気づく

地元の農業に親しんでもらうため、数年前から稲作体験を実施しています。小学生、保護者、先生で稲作の育苗の勉強から始まり、田打ち、代掻き、田植え、除草剤まき、穂肥撒き、稲刈り、脱穀、料理教室まで、ひと通り体験しました。春から秋まで継続的にお米づくりに関わることで生産者の気持ちに気づき、体験する前とは違った気持ちでお米や農業と向き合える稲作体験は、毎年好評の定例行事となりました。



皆で協力して収穫したお米を調理する貴重な体験でした!

3) 春の田植え体験  
4) 秋の稲刈り体験  
5) 収穫したお米を使った料理教室

茨城県  
栃木県  
群馬県  
埼玉県  
千葉県  
東京都  
神奈川県  
山梨県  
長野県  
新潟県